

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 442

事務事業名	富の原鬼橋線整備事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	木場 文登	内線	425

基本目標		
政策		
施策		
関連施策		

会計	一般会計	
款	8	土木費
項	5	都市計画費
目	2	街路事業費
事業コード	020200	富の原鬼橋線整備事業

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画	大村市都市計画マスタープラン	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	都市計画道路・富の原鬼橋線利用者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	当該道路の利用者及び地区住民の交通の利便を図り、併せて周辺土地利用の促進や地域の振興を図るため、幹線道路網の整備をする。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	大川田工区 全体計画 道路改築 L=705m 幅員 W=16m 用地補償 面積 A=15,454㎡ 建物補償 N=19棟		
事業期間	平成 9 年度	～	平成 27 年度
実施方法	直営		

成果指標名	走行時間の短縮			算定式等 走行距離/走行速度=走行時間 富の原鬼橋線(大川田工区)と池田沖田線(小路口工区)を合算して算定している。
着手前現状値	平成 9 年度	単位	分	
完了後計画値	平成 27 年度			

【DO(実施)】

事業実施項目		25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額	341,465							
	項目別進捗率								
実施設計	実績・計画額	90,208		1,534					
	項目別進捗率								
用地・補償	実績・計画額	1,076,135	21,189						
	項目別進捗率								
建設工事	実績・計画額	372,711	450,817	117,810					
	項目別進捗率								
事務費等	実績・計画額	51,560	3,848	138					
	項目別進捗率								
合計	実績・計画額	1,932,079	475,854	119,482	0	0	0	0	
	項目別進捗率								

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	299,537	475,854	119,482	0	0	0	0	0
国庫支出金	133,465	241,390	70,015					
県支出金								
地方債	148,555	221,000	48,700					
その他								
一般財源	17,517	13,464	767					
② 人件費(千円)	6,127	7,679	1,841	0	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	0.69	0.91	0.21					
時間外勤務(時間)	322	401	180					
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	305,664	483,533	121,323	0				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】の 改善・改革の進捗等)	平成27年度完了。(平成27年6月1日開通)
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	JR大村線が市街地に南北に縦貫し線路東側地区と西側地区の通行は、狭い踏切を利用している。当該道路を整備することにより、JR大村線と立体交差が可能となり、交通の円滑化と安全性が確保されるとともに、事業着手している池田沖田線と接続することにより、幹線道路網の整備が図られるため、本事業の必要性は高い。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	事業着手している池田沖田線や九州新幹線西九州ルート(仮称新大村駅)の整備に併せて事業の進捗を図る必要があり、緊急性は高い。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	今後の交通量増加や九州新幹線西九州ルート開通に伴う土地利用等に対応するには、幹線道路網の整備は重要であり、その効果は大きい。						
負担割合	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	公共事業においては、最も経済的なコスト削減を実施している。						
見直し	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	国の補助率に沿った負担割合であり、見直しは困難である。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	前年終了	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような 取組をするか(課題や問題点等に 対する取組など)	
効果 事業の改善・改革によって期待され る効果は何か	

1次評価	今後の方向性	終了		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。